エプソン販売が導入

電子決済サービス シャチハタクラウド

シャチハタ株式会社（舟橋正剛社長、名古屋市）は、提供する電子決裁サービス「Shachihata Cloud（シャチハタクラウド）」を、セイコーエプソン株式会社の商品・サービスの国内販売およびマーケティングを担うエプソン販売株式会社が導入し、フルリモート下でのデジタル承認手続き環境を整えることで、手続き完了期間が1週間から最短1日に短縮するなど、業務効率化を成功させたと発表した。

「Shachihata Cloud」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会全体に推進されたデジタル化の波を受け、ビジネスシーンにおいて普及するテレワークでの決裁業務をサポートするために、顧客ニーズの高まりを受け、それまでの電子決裁サービス「パソコン決裁Cloud」の機能を拡張し、2020年に発表された電子決裁サービス。

セイコーエプソン株式会社の商品・サービスの国内販売およびマーケティングを担うエプソン販売株式会社は、「社員が身近に感じられる」ことをDX推進の原動力にしたいという思いから、電子決裁サービスの導入を検討する際、特に「管理者にとって使いやすい」との理由から比較検討を行い、Shachihata Cloudを導入。結果、業務効率化を成功させている。

コロナ禍で、在宅勤務やリモートワークにシフトする一方で、帳票に捺印するためだけに出社しなければならない、職制の承認に以前より時間がかかってしまっている、といった捺印に関する課題が表面化していた際に、「社員が身近に感じられるDXを」というメッセージを社長が発信していたこともあり、この機会に電子捺印サービスを導入することで、こうした課題を解決しようと決め、検討がスタート。"導入の手軽さ"「使いやすさ」「コスト」などのポイントを考慮し比較検討した中で、最適だと感じたのがShachihata Cloud。

エプソン販売株式会社では、申請作業に使う帳票が多く、捺印だけでなく回覧機能を備えているサービスが適していると考えたときに、他のサービスには回覧機能がなかったことからも、Shachihata Cloudが選択された。

エプソン販売は北海道から沖縄まで全国各地に拠点を持つことで、地方から業務上の申請をするたびに、紙の帳票を作成し新宿本社の主管部門へ送付する必要があり、そのリードタイムは長い場合で1週間ほどかかっていた。Shachihata Cloudを導入することで、早ければ即日承認が完了するなど効率化を実現。デジタルで申請業務ができることから、根回しなどに掛かる余計な心理的負担も軽減されたという。また、利用者側の使いやすさはもちろんのこと、社内で管理する部門も非常に楽という点が大きかったとしている。管理もより簡単に、現場も楽という理想を一番シンプルに叶えられるツール。

エプソン販売株式会社では、「紙帳票の電子化だけでなく、決裁業務を含めたシステムや古いプラットフォームの刷新など、デジタル関連を全面的に見直すタイミングに差しかかっている。紙帳票を社内システムへ組み込むにも、既存のシステムから新規システムに移行するのにも、中断期間や予期せぬトラブルはつきものであり、Shachihata Cloudは、その導入のしやすさを活かして、本格的なDXに取り組むための〝橋渡し〟になると期待されている」としている。

シャチハタクラウドで業務の効率化

VR工場見学実施

マルアイ文具製造の工程を公開

株式会社マルアイ（村松道哉社長、山梨県市川三郷町）は、工場内や、ぽち袋・クラフト封筒などの製造工程が見られるVR（仮想現実）動画の特設サイト（https://www.bungu-channel.com/vr-maruai）を、2月15日～3月19日までの期間限定で公開している。

同社は地元の学生及び教育機関を対象に工場見学を実施しているが、非日常な体験が楽しめる工場見学への人気の高まりと、昨今の文具ブームを受け、工場内や商品の製造工程を見られるVR動画を制作し、誰でも24時間無料で見学可能なオンラインVR工場見学をスタートさせた。

工場見学では、祝儀袋やお年玉袋を製造する「祝儀品工場」と、クラフト封筒を製造する「封筒工場」の2つの工場を見学できる。VR動画では、工場の中を360度見渡すことができ、画面上で進みたい方向をタップすると移動ができるため、まるで自身が工場を実際に歩いているようなリアルな体験ができる。さらに、工場内を見て回るだけでなく、機械の特徴や商品の製造工程を、静止画や動画を映し出して、工場で働く熟練職人の解説も聞くことができる。

また、開催期間中は、参加者を対象としたプレゼントキャンペーンも実施している。

なお、同社のVR工場見学の動画がアップされている「文具チャンネル.com」は、株式会社エムディーエスが運営する文具の情報サイト。WEBやSNSによる情報発信、イベント開催、VRサービスを提供するなど、様々な企画を通じて文具の魅力を伝えている。

VR工場見学特設サイト

紙質選べるノート

ヨコク コヨ 好反響で発売、イベントも

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、クラウドファンディングで目標金額1300%超を記録した「ドイツ装ノート『PERPANEP（ペルパネプ）』」の発売を、コクヨ直営ストアと期間限定のPOPUPで3月1日から開始する。

また、発売開始を記念したイベント「バー ペルパネプ」を、3月3～5日、コクヨ東京品川オフィス「THE CAMPUS」（1階ショップ2階）で開催する。

「ペルパネプ」は、紙と筆記具の相性に注目し、「書き心地」をデザインしたノートのシリーズ。滑るように颯爽と書ける「ツルツル」、滑らかで心地よい書き味の「さらさら」、音を感じる落ち着いた書き味の「ザラザラ」の3種を揃える。

今回発売するペルパネプシリーズのハイレンジモデル「ドイツ装ノート」は、作り手の思いや商品のこだわりを直接届けるため、応援購入サービス「マクアケ」で予約販売を実施し、目標金額の1300%を超える高評価を得た。

この反響を受け、3月1日よりコクヨが運営する「THE CAMPUSショップ」（コクヨ東京品川オフィス内）及び「コクヨドアーズ」（羽田エアポートガーデン内）、公式ステーショナリーオンラインショップでの販売を開始するほか、期間限定POPUP（丸善日本橋店3月1日～7日、ナガサワ文具センター本店3月1日～17日）での販売も実施する。

発売記念イベント「バー ペルパネプ」では、ドイツ装ノートの商品の特徴や開発の過程が分かる特別展示に加え、社員がユーザーおすすめのノートや書き方を提案するバーのような空間「書き方テイスティング」、ビジネスクリエイターたちの「書く」を語る「カク・クリエイティブ会議」、その他「書く」にまつわるワークショップなどを予定。来場者にはイベント記念ステッカーのプレゼントも用意している。イベントへの入場、ワークショップは無料だが、参加に際してはLINEからの事前予約が必要。

アンバサダー任命式

マクアケで予約販売

山積みする国際情勢への対応

流通センター講演会

協同組合大阪紙文具流通センター経営労務委員会（寺浦浩之委員長）は、2月10日午後5時半から東大阪市長田の組合会館2階ホールで、同志社大学の村田晃嗣教授を講師に迎えて、恒例の新春講演会を開催、組合員企業から74人が聴講した。

講師は「混迷する国際情勢と日本の展望」をテーマに、来年のアメリカ大統領選挙、ウクライナ問題、重要性が増しているインドとの関係、人口減が続いている中国、対立を深めている米中関係など、様々な問題が山積する国際情勢に対して、岸田内閣がどう乗り切っていくのか。

また、広島でのG7サミット、4月の統一地方選挙の行方、今後人口減少が避けて通れないことから、具体的な対策を考えて次世代に引き継いでいく必要があると、強調した。

流通センターの講演会

ハンズが文具祭りを開催

新商品など集めて紹介

株式会社ハンズ（桜井悟社長、東京都）は、2月15日からハンズ各店とネットストアで、「文具祭り2023」を開催している。

「文具祭り」とは、毎年ハンズで開催している文具を楽しみ尽くすお祭り。

今年のテーマは「文具がもっと好きになる」。バイヤーセレクトのおすすめアイテムや文具祭りだけの限定コラボアイテム、店頭特設コーナー、ワークショップなどイベントが盛り沢山。

期間中の2月15日～4月2日は、「文具祭り」特集コーナー。

「文具がもっと好きになる」のテーマのもと、ハンズの文具バイヤーがアイテムをセレクトし、新商品や限定商品を集めて紹介している。

2月11日～4月21日は、レイメイ藤井の働く女性向けの収納小物のシリーズ「フフェス」特集コーナー。「もっとワタシらしく！」をテーマに、最新トレンドの新商品を紹介する。

ダ・ヴィンチ店頭陳列コンクール

レイメイ藤井

株式会社レイメイ藤井（藤井章生社長、東京都）は、システム手帳ダ・ヴィンチの人気拡大と販売の活性化を目的に、ダ・ヴィンチキャンペーンの一環として「ダ・ヴィンチ店頭陳列コンクール2023」を、参加登録した販売店舗を対象に2月15日～4月16日まで開催している。

対象商品は「ダ・ヴィンチ」システム手帳とリフィル。

応募資格はダ・ヴィンチグランデシステム手帳及びダ・ヴィンチ リフィルA5、聖書、ポケット、ミニ5全サイズの取扱店。

優れた店舗陳列を行った店舗には「ベストディスプレイ賞（賞金10万円）、「グッドディスプレイ賞」（賞金3万円）を贈呈。

産学連携のアイデアコンペ

○…文具女子博

日販セグモ株式会社（安井邦好社長、東京都）は、即売イベント「文具女子博」の仙台開催（2023年夏）を記念して、新プロジェクト「産学連携 文具女子博 文具のアイデアコンペティション」を立ち上げる。

「文具女子博」としては初の産学連携の試みで、仙台にある東北工業大学と連携し、在学生を対象に「かわいらしくて新しい文具のアイデア」を募集し、優秀なアイデアには賞金を贈呈する。中でも新規性が高く、極めて優秀なアイデアには商品化の道も用意されている。

さらに、数多くの学生からのアイデアを募ることを目的に、工大サミット参加大学（愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、広島工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学）の学生も対象としている。

応募テーマは「かわいい文具 未来の文具を描こう」。大賞10万円、優秀賞5万円、文具女子博特別賞3万円。

文具女子博の会場内で一次審査を通過したノミネート応募作を展示。来場者と出店社のスタッフなどによる投票をもとに、プロジェクト事務局メンバーによって受賞作を最終決定する。

アイデアコンペの告知

封筒は企業の「顔」。
私たちは
企業の顔を大切にします。
富士封筒
ISO9001
ISO14001
認証取得
FUJIX フジックス株式会社
http://www.fujix-kk.com
本社／〒577-0066 東大阪市高井田本通2-7-18 TEL.(06)6784-3900(代) FAX.(06)6784-4100
東京営業所／〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-3 TEL.(03)5495-7521(代) FAX.(03)5495-0622
名古屋営業所／〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-7-6 TEL.(052)209-5580(代) FAX.(052)204-3200